



ONGAKU

～音で笑顔に～

秋も少しずつ深まってきましたが、秋の初めの頃、風の音をどんな風に聴きましたか？ドーンと吹く風にどんなことを感じましたか？これからの季節にもいろいろな音が聞こえてくることでしょう。「あれっ？」と思ったら、耳をすましてよく聴いてみてください。

【活動報告】

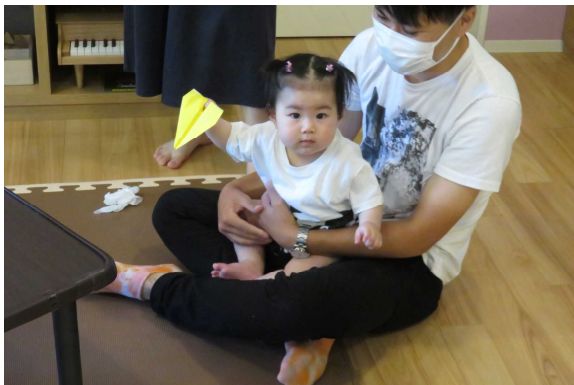
「パパも遊ぼう！～風飛行機“AYATAKA-GO！”」

5月29日（日）江古田の杜 11:00～12:00

江古田の杜では、毎月第2木曜と第3日曜に「おひさまリトミック」を行っていますが、第5日曜がある時は「パパも遊ぼう！」を開催しています。

今回は池田理事長考案の風飛行機で遊びました。好きな色の折り紙を選んで、自分では上手く折れない子ども達もお父さんやお母さんが折っているのをじっと見入ったり、ちょっと真似して折ってみたりしながら楽しく仕上げていきました。

完成したらまず室内で飛ばします。風飛行機は、真下に投げてそのまま落ちずにクルリンと回転したり、抱っこされたお子さんの小さな手から、ただ落とすだけでもフワッと飛び不思議な紙飛行機なので室内でも十分に楽しめます。次はテラスへ出て遊びました。そよ風吹く中、正に“風飛行機”の名前の通り、風に乗ってフワフワ・サーッと、驚くほど良く飛ぶのでみんな大満足の一時でした。



※今回の風飛行機“AYATAKA-GO！”は、理事長のお孫さん綾鷹君の発想が活かされているのでこのネーミングになりました。折り紙一枚で簡単に折れる“AYATAKA-GO！”小さなお子さんでも誰にでも飛ばせるスーパー紙飛行機“AYATAKA-GO！”の作り方はホームページをご覧ください！

【インタビュー特集④：村田英夫さん】

聞き手：池田理事長・斉藤副理事長

同席者：口中事務局長

私達は一般財団法人民主音楽協会(民音)の教育支援事業の一環として、2005年から全国で172回の「親子のための手作り楽器体験学習会」というワークショップ(WS)を実施してきました。現在はコロナ禍で活動休止中なのですが、今回はその3分の1以上にあたる65回の開催を実施してくださった民音北海道センター長の村田英夫さん(現 民音常務理事)にお話を伺います。

池田：今日はお時間頂き有り難うございます。村田さんに初めてお目にかかったのは2007年でしたね。

村田：そうです。当時北海道支部では別の団体に“親子のための手作り楽器体験学習会”をお願いしていたのです。作る楽器は本格的で演奏する音楽も素晴らしかったのですが親子が向き合って何かを作り上げると言う点で物足りなさを感じていたんです。そんな時に口中さんから池田さん達を紹介されました。

斉藤：私達の第一印象はどうでしたか？

村田：まず最初にマリンカンを紹介してくれたのですが、楽器そのものの事よりお二人が熱く語るその熱量に驚かされました。

口中：そうそう、私も初めてお二人にお会いした時に、お二人とも2時間以上、子ども達に伝えたい思いを熱く語って下さって圧倒されてしまいました。

村田：その情熱的な語り口調に接して“この人達とだったら面白いことが出来そうだな”と直感して、お二人をお願いすることを即決しました。

口中：そして2007年1月から北海道でのWSがスタートしたんですね。実際の活動をご覧になって如何でしたか？

村田：池田さん達のWSは親子は勿論、私達スタッフまで一緒になって楽しかった。でも何よりも驚いたのは池田さん達の子どもに対する評価の仕方というか認め方でした。

口中：認め方ですか？

村田：そうです。どの子にも「イイネ！」と言えるところを見つけ出して褒める。お母さんが手を焼いているような、落ち着きのないお子さんや中途半端なやり方でいい加減な作業しかやろうとしないお子さんにまで、あんな認め方があるのか！と思うほど多角な観点で子ども達を認めて褒める姿に驚かされました。

池田：その点を見て下さっていたのは有り難いです。僕たちは常に子どもの中にある「その子らしさ・特性」を活かそうと考えています。そのためにはまずその子のありのままの姿を認めることから始める必要がある。そのベースにあるのが“音を楽しむ ONGAKU”の大前提である“その人の感じ方が全て”という考え方なんです。

ある音を聴いた時に“良いな”と感じても“つまらない”“嫌い”“何も感じない”等、どう感じても感じ方は人それぞれ自由！お互いにその感じ方を尊重し合わなければ、感じたことを素直に表現できなくなってしまう。自分の感じたことを素直に表現出来ることはとても大切な事ですが、私達大人は社会性が身について、場の空気を読んで行動するために、時として正直な思いを素直に表現しない事も少なからずあるじゃないですか。

斉藤：子ども達だって知らず知らずのうちに大人に認めてもらえるような発言をしていることがあるんですよ。だから“アッキー達はありのままの自分を表現しても OK な存在だっていう安心感・信頼感”を子ども達にもってほしい。全てはそこからがスタートなんです。



村田：池田さん達が、会場内を元気良く？走り回ってしまうお子さんの足音をグループアンサンブルの中に取り入れて“君はこのタイミングで走り回ってね！”と、作品の一部にしてしまったことがあった。持てあましていた会場を走り回る我が子のエネルギーを、プラスに評価された時のお母さんの、ちょっと驚いたような嬉しそうな顔が今でも忘れられません。

池田：その点を見て下さったのも有り難いです。実は民音でWSを始めさせて頂く前、僕たちは主に小学校の先生方対象の研究授業やWSの講師依頼を受けていました。でも民音のWSは親子参加型。しかも年間通して何回も実施されたからこそ見えてきたものがあるんです。それが親御さんの、特にお母さんの子育てに向き合う姿だったのです。

口中：と言うと？

池田：核家族化で相談出来る先輩がいない。少子化で子ども一人一人に対する周囲の期待も大きい。場合によっては自分でも忙しい仕事を持ちながらの子育てはお母さんにとって大きなプレッシャーになっていることがあるんです。当然笑顔になる余裕もありません。子ども達にとってお母さんが笑顔でいることが彼らの成長にとってとても大切な事なのに、それが難しい状況が多々あるってということが伝わってきたんです。

齊藤：そこで私たちはWSのターゲットを子ども達から親御さん、特にお母さん方の笑顔づくりのための児童理解や教育について、これまでの常識的な考え方から一步離れた考え方を伝えることにシフトチェンジしたんです。だからそれまでは二人で子ども達の間を飛び回っていたんですけど、くにポンには親御さん担当としてジックリお話をしてもらおうことにしたんです。

村田：なるほどそういうことだったんですか。ある時から池田さんの動きが以前ほど活発じゃなくなってきたから、さすがのクニポンも年齢的に動けなくなってきたのかなと思ってましたよ(笑)。

池田：いやいやそんな風に見られていたなんてビックリ！僕たちはまだまだこれからも精力的に活動させてもらいますよ！

村田：それを聞いて私も一安心！今後ともよろしくお願いします。！

齊藤：私達の方こそ、1日も早くコロナが収束することを願っています！

口中：今後とも私達の活動にご協力頂ければ有り難い限りです。今日は貴重なお時間を頂き本当に有難うございました！

偶然昨年6月に、今回のインタビューの内容にぴったりのメールを北海道剣淵町の鷹合さんから頂いていたのでご紹介します。

2021年に長男・次男・三男と、19年には三男と参加させていただいた鷹合です。コロナ禍で子ども達の行動が何かと制限される中、自分たちが動き回るのではなく、静かに音に耳を傾ける面白さを教えてくれたクニポンとアッキーの事が話題に上がったのでメールさせて頂きました。実は初参加以来、生活の何気ない音に子ども達が耳を傾けるようになっていたのです。防風林から駆け抜けてくる風の音・水田に広がる稲が揺れてざわめく音・鳥が鳴く野江や虫の声に季節を感じ、それら全てが音楽のように聞こえると子ども達が言うのです。子ども達の想像力は無限に広がり、身近なものを使って音を作ったりと、このコロナ禍に入っても我が家の子ども達は面白い事を見出す達人です(笑)

三男が2019年の作文コンクールに、手作り楽器体験学習会に参加した時の事を書いた詩「民音が教えてくれたこと」が”きぼう賞”を受賞しました。当時彼はこんな話をしていました。

「参加してる人がうるさくしてもクニポン先生やアッキー先生は注意しないんだ。その代わりにちょっとしたことで“君の〇〇が素晴らしい”って言う。言われた人はうれしくなってもっと素晴らしくしたいと思うし、まわりの聞いた人はマネしようかな？とか、いや、もっとこうしようとか、集中して行って自然とみんなが静かになっちゃうんだよなー」って。先生達の言葉はまさに魔法の言葉です。コロナ禍で不安を抱えながら子育てを誰にも相談できないお母さんがたく

さんいます。こんな時だからこそ、一人でも多くの方々にクニポン達のワークショップを知ってもらえたらと思います！粹からはみ出したら違うクラスになるとか、比べたりとか不安に思っ
て子ども達にはこれを覚えさせきょとかあれも出来なきょとか、親の私だけ焦っていました。楽し
くないですね。笑顔になれない。だからやめました。

クニポン先生、アッキー先生、出会えて良かったです！本当にありがとうございました！

鷹合さん！僕たちの活動が子育て支援の一助になっていることが実感できる、本当に嬉しいメール
でした！有難うございます！またWSでお目にかかりましょうネ！ くにポン&アッキーより

<新作楽器：カラカラ>

紙コップとクリアコップを組み合わせて、間にビーズや豆や種などを入れました。好みのマスキングテープで飾るとキレイ！可愛いOTTOのロゴも入れてみました。皆さんも作ってみてください！

※作り方はホームページをご覧ください



【今後の活動予定など】

～ご参加などについては、本会事務局までご連絡ください～

★江古田の杜：おひさまリトミック（第2木曜と第3日曜）

- ・10/16（日）①10：00～10：40 ②11：00～11：40
- ・11/10（木）11：00～11：40
- ・11/20（日）①10：00～10：40 ②11：00～11：40
- ・12/8（木）11：00～11：40
- ・12/18（日）①10：00～10：40 ②11：00～11：40

◆その他の予定については今後決定するものもあります。ホームページをご覧ください。

< 賛助会員を募集しています！ >

本会の活動は殆ど全て会員の皆様の会費で賄われています。本会の事業の趣旨に賛同し、ご支援していただける方は、是非賛助会員になってください。現会員の方は、お知り合いの方などにお声をおかけください。賛助会員になってくださる方（または誘ってくださった会員の方）は、まず下記の事務局までご連絡ください。

賛助会費は、年間3000円です。よろしくお願い致します。

< 振 込 先 >

- | |
|---|
| ① ◆三菱UFJ銀行 向島支店 ◆口座番号：普通 0088065
◆名義名：エヌピーオウハウジンオトヲタノシムオンガクノカイ |
| ② ◆ゆうちょ銀行 ◆口座記号：10090 口座番号：18396671
◆加入者名：トクヒ）オトヲタノシムオンガクノカイ |

NPO法人 「音」を「楽」しむONGAKUの会
〒131-0032 東京都墨田区東向島2-34-12 サニーフラット202号
PHONE & FAX：03-3610-2292

E-mail otoiawase@oto.or.jp

URL：<http://www.oto.or.jp/>

facebook：<https://www.facebook.com/ototano/>